



壬生町立藤井小学校
学校だより
令和7年度 9月号

揺籃だより



教育目標

：豊かな心で助け合う子供 よく考え進んで学習する子供 健康でたくましい子供
～洗心の松のように大きく根を張り、揺籃の藤のように美しく、たくましい大木になろう～

学校 HP

2学期がスタートしました！！

2025 年の夏も記録的な暑さとなり、8月5日には群馬県で日本の過去最高となる最高気温 41.8℃を記録しました。9月になったというのにまだまだ暑い日が続きますが、みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

この夏は、太平洋戦争終戦 80 周年という節目の年を迎え、戦争関連の報道が多かったように思います。大阪万博も賑わっていましたね。「持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献」「日本の国家戦略 Society5.0 の実現」をめざしての開催だということですが、SDGs 達成目標まで 5 年となってしまいました。VUCA 時代の中で、たくましく生きる藤井っこを育てるために、今学期も本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2学期始業式

ランチルームにて実施しました。代表児童のはきはきと堂々としたため発表は素晴らしく、強い意志を感じました。

校長からは「2学期は行事もたくさんあるし、学習・運動に集中できて、大きく成長できる学期です。みなさん、失敗を恐れず**挑戦（challenge・try）**し、粘り強くがんばってほしいです。そのためには、周りの友達も、努力して失敗した行動を笑わずたたえてほしいと思います。詩『教室はまちがうところだ』を紹介しますね。学級では考えをどんどん言い合い、また、友達の誤りや失敗を責めることなく励まし合って大きくなってください」と、話をしました。（有名な詩です。昇降口にも掲示しております。）聴いている児童たちも、姿勢良く話を聴きました。給食の配膳中などに『立腰』を継続して行っている成果が出ています。

漢字を丁寧に書きたいです。止めやはね、はらいにも気をつけて書きたいと思っています。



運動会では、高学年は応援団に入ります。恥ずかしがらず声を出し、下級生のお手本になるようがんばります。

最後に、文部科学大臣からのメッセージ「不安や悩やみがあったら話してみよう」を児童指導主任が読み上げ、「いじめのない、楽しい学校にしていこう」と呼びかけました。

夏休みを振り返って

① ラジオ体操で生活習慣作り！ 壬生高生とのサマースクール！！

7月下旬の3日間、藤井小PTAと学校運営協議会の共催で「第5回 わくわく早起きラジオ体操」を行いました。「ゆうがおクラブ」の皆様にもご参加いただき、大盛況でした。朝礼台上の指導者・青木圭子さんを見ながら、皆さん、楽しそうに体を動かしていました。

また、サマースクールでは、壬生高生7名の皆さんが、各学年の学習の支援に入ってくださいました。気軽に質問でき、やさしく教えて下さるお兄さん・お姉さんとの学習を楽しそうに行いました。



また、生活指導部等、担当の保護者様には、地域の危険箇所の巡回や壬生ふるさと祭りでの児童指導等、お世話になりました。お陰で、水難事故や交通事故もなく過ごすことができました。

教育目標「豊かな心で助け合う子供」を目指して

近年、教育の世界でも「VUCA（ブーカ）の時代」という言葉を 良く聞くようになりました。

VUCA（ブーカ）は、

「Volatility：変動性」「Uncertainty：不確実性」「Complexity：複雑性」「Ambiguity：曖昧性」の頭文字をとった言葉です。4つの頭文字からわかるように、まさに「明日なにがおきるかわからない、予測不可能な時代」を意味するそうです。

文部科学省も「VUCA の時代において、変化に対応し、不断に能力を向上させていくことが重要」と指摘しています。求められる能力は、【環境の変化に対応する柔軟性や適応力】【既存のやり方にとらわれずに新たなアイデアを生み出す創造力や問題解決力】【多様な文化・社会的背景を持つ人々と協力するコミュニケーション力】【デジタルツールを使いこなすスキル】など様々です。保護者のみなさんは、どんな力が必要かとお考えでしょう。

藤井小の2学期は、『挑戦』です。特に、教育目標の「豊かな心で助け合う子供」を目指して以下の具体策を意識して活動します。

- ① **道徳科を要とした思いやり教育の充実**(考え対話する道徳科授業およびねらいに迫る道徳科の授業づくりの実践、生き方を考える論語教育・論語朗読の実施)
- ② **いじめ・不登校の未然防止と対応の強化**(各種アンケート実施、組織的・効果的な指導体制づくり)
- ③ **基本的な生活習慣の向上**(心のこもった挨拶、返事、言葉遣い、靴そろえ)
- ④ **地域と連携したふるさと学習・体験活動の充実**(稲作・かんぴょう栽培等)
- ⑤ **福祉教育・交流活動の活性化**(地域の方、敬老者、幼保・小・中・高)
- ⑥ **規範意識の高揚**(学習・生活のきまりを守る、情報モラル教育の充実、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットの推奨)
- ⑦ **異学年交流活動の推進**(縦割り班での清掃や給食、共遊、集会)
- ⑧ **ニーズに応じた特別支援教育の充実**(児童理解を基にした学級経営の充実、支援教育理解促進のための職員研修や保護者への啓発)

毎週の道徳では、一つの価値に焦点を当てて、多角的・多面的に考えさせています。進んで活発に、自分の考えを発表させることで、深まりのある授業を目指しています。



あいさつが上手な子供たち。返事にも挑戦。子供同士・先生と距離が近すぎるあまり「やだ、まじ、むり・・・」と雑な返事も聞かれます。返事を正しくすることは、相手を大切にすることに繋がると話しています。

もちろん心の育成だけでなく、分かる授業の展開も目指します。児童主体の楽しい授業が目標です。宿題においては、毎日の音読の確認や授業準備（筆箱の中身も）確認も、学年に合わせてご協力ください。「眠育の日」につきましては、各家庭、各自、有意義に使ってもらいたいと考えます。

また、「**鉛筆の正しい持ち方**」についても全校上げて指導をしていきます。鉛筆を正しく持つことのメリットをいくつか紹介しますので、家でも励ましてください。

- ① **疲れにくくなるので集中力アップ**(過度な力みがなくなるので疲れにくく、長時間 書き続けられます)
- ② **綺麗な文字が書けるので自信がつく**(スムーズに鉛筆をコントロールできるので、きれいに書けます)
- ③ **早く書けるようになるので、勉強も楽しくなる**(板書も、読みやすい文字のまま、早く写せます)

1年生の2学期のめあてを紹介します。

【学習】・算数をがんばりたいです。・話をしっかり聞く。・たくさん発表する。
・字を上手に書く。・字を丁寧に書く。

【生活】・大きな声で自分からあいさつをする。・すみずみで掃除をがんばる。
・お友だちにやさしくする。・いいことをする。

【体】・外で元気に遊ぶ。・あきらめないで最後までがんばる。
・手洗いうがいをする。・運動して体を元気にする。

2学期の登校日は79日の予定です。めあてが達成できるよう、応援していきます。